

# 話<sup>わ</sup>つ花<sup>か</sup> (三一)

鳥井まみ

## イクメン鴨

「子育てするから  
 出ていって」と  
 メスはオスと別れ  
 多くは子育てして  
 オスは出産の折りに  
 すでに消えてい  
 どっかへ消えてい  
 逆にこちらに  
 オスが子育てに熱中  
 「なんで？」  
 卵の数が増え  
 このままでは  
 子孫が繁栄しないと

カモ類の中でも  
 とくに珍種な  
 アマゾン川の  
 「子カモたちは  
 とたのんで  
 ママは新しいカ  
 「できちゃった！  
 大ハッスルで  
 少卵化率に  
 タネまきに  
 でていくのが  
 すりかわったの  
 進化かも



# 夜が明けると

今日も綿摘みで  
二百キロをつんで  
「石鹸ください！」  
「体が臭くて息がつまりそう」  
せめて休みには洗いたい  
ソロモン諸島から  
ある日突然  
アメリカ南部に  
つれてこられて  
でもモクモクと綿摘み  
生き延びるには  
それしかなかった  
アカデミー作品賞を手にした  
「それでも夜は明ける」  
映画 芸術 化学の  
アカデミー協会が  
心を揺さぶられた  
作品として選ばれた  
脂汗も悔し汗も事実だったから  
影でゴソゴソ

ゴーストライター  
♪ 楽譜のひや汗が  
楽譜が踊らされていたとは  
綿も楽譜も  
吹き出る汗を吸い取って  
くれてサワサワ



# 丸くなつたのは

トチやコナラの新緑が

まぶしい剣山の稜線を

ゆるやかな稜線を

登つていくと

百種もある花々

剣と書くのに

なぜ尖つてない

それどころか優しい山です

女性らしい優しい山です

おなじみ優しい山です

三葉ツツジはピンク

葉っぱが五枚ついて

五葉ツツジは清楚な白花

クマザサが広がって

「次郎さん」と呼ばれる

「分のは手前に呼ばれる

「さらにいくと呼ばれる

「太郎さん」と呼ばれる

一本家の剣山に到着

「オレさまのものだ！」

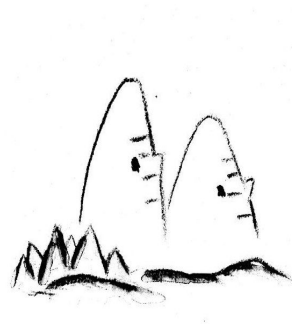
「オレさまのものだ！」

嫁取りをめぐつて

兄弟ケンカ

頭を丸めたとか

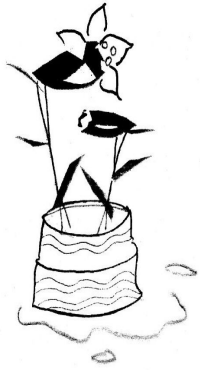
ありつこない仮説だけど



## お休み前に

ベッドに入る前の  
ひとときは  
「ああ やつと私の時間」  
一日の終わりの  
リラックスタイム  
髪をとかし  
あとは  
眠りの訪れを待つだけ  
「そんなの とんでもない！」  
「悠長なコトなど……」  
と夜も昼も  
耳学にも目学にも  
わが国のフリーストレイとか  
明治になつて要職についた  
方の夫人たち  
表に出ないで  
かげから支えて上げたい  
かばって助けて  
夫を一流人にして  
世にだした

もとは芸者ガールたち  
出世させたい  
おもてなしようです  
だつたようす  
あとは  
その日の気分と相手に  
合わせて  
「グーサー」お休み



# トリプル トマト

きざんだトマト  
オリーブレモン  
塩が

容器の中でジャンプ

絶対にはび出したり

しません 激しくなんて

容器の中で回したの

美女性のようすが

トリプルトマトの

この猛暑は

ご主人さまは

どうですか？

胃袋に流しておられる

どっぴりと日々

そのめんと

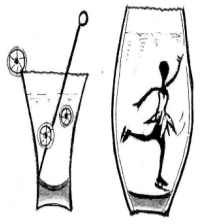
野菜をのせて

スースーやってます

と返事がきた

トリプルジャンプ

氷がハジク！



# クマノミのお家

カラフルすぎで！  
鮮やかなオレンジに  
黒い縁取り  
カクレクマノミ  
暖かい海でイソギンチャクの  
住み処を  
許可証もなく自由に出入り  
「お世話になります」とか  
「どうぞどうぞ」など  
なくとも摩擦がなく  
生じたことはない  
共生している  
ただクマノミは卵巣と精巣を  
両方もつていて  
「女にもどりたいわ」  
「男にもどりたい」  
どっちかに性転換しても  
いいらしい  
まあこのことは  
ナイショにしないが

べつに秘密保護法にする  
こともないし  
届けることも無いけど  
隠れてよその家を  
出入りさせて  
も入らせている

